

情報共有 3枚 (非管理用)

宮邸班, NISA班 ← プレス対応チーム

東京電力株式会社

手許資料

\* 6/30 12:45 17:15

福島地域支援室における、本日(6/30)9時定例レク、11時10分臨時レク概要についてお知らせいたします。

6/30(木)9時定例レク概要

<説明内容>

①プラント関連パラメータ(6月30日 6:00現在)【口頭説明】

②プラント状況、本日の作業予定について【口頭説明】

<水処理装置について>

○昨日18:45起動

18:54停止(手動)※1

18:59警報発生 ※2

21:15起動

21:30定格容量(80%、40m<sup>3</sup>/h)へ達する

その後継続運転中

※1:アレバ凝集沈殿装置のバルブが手動モードになっていたため、当該水位が上昇→作業員が手動にて停止

※2:ろ過水の水位レベルが低いことを知らせる警報だが、以前から誤警報が発生していた。今回に関しても誤警報であり、作業員による手動の停止とは無関係。

<1号機>

- 原子炉への給水系ラインからの淡水の注入について
- R/B地下階の水位について
- 建屋カバー設置工事について

<2号機>

- 原子炉への給水系ラインからの淡水の注入について
- プロセス主建屋へのたまり水移送について
- 格納容器への窒素封入について

<3号機>

- 原子炉への給水系ラインからの淡水の注入について
- SFP代替冷却設備の設置について
  - ・本日一次側にて水張り、試運転実施→本格運転へ
- プロセス主建屋へのたまり水移送について
  - ・8:56移送開始

<4号機>

- SFP底部支持構造物設置工事について

<5号機>

○所内電源切替に伴うRHRの一時停止について

<6号機>

○仮設タンクからメガフロートへのたまり水移送について

- ・本日13時より開始予定
- ・メガフロート容量は10000m<sup>3</sup>程度
- ・8000m<sup>3</sup>移送予定
- ・20~30m<sup>3</sup>/hで、3~4ヶ月に渡り移送実施予定
- ・たまり水はゼオライトや活性炭により浄化されている

<各号機T/B地下階、トレンチ立坑水位について>

<集中廃棄物処理施設>

○プロセス主建屋の水位について

○雑固体容廃棄物減容処理建屋の水位について

<その他>

○飛散防止剤の散布について

○リモートコントロール重機によるガレキ撤去について

○港湾関連施設の改修工事について

○大型タンク設置作業について

○防潮堤の設置状況について

- ・進捗状況：28日現在で85%

<主な質疑>

Q. アレバ装置に関して、なぜ手動モードになっていたのか？

A. システムを停止して点検等を行った際に、手動モードのままにしてしまった。

Q. バルブが閉まった状態だったということか？

A. その通り。

Q. モードの状態を確認することは出来ないのか？

A. 近傍の操作室の操作盤にて切り替え等を操作している。その際に確認不足があったと考えている。

Q. 仮設タンクの貯水状態は？

A. 容量は約12200m<sup>3</sup>、現在10700m<sup>3</sup>程度の水を貯蔵している。

Q. 全て6uT/B地下階の水か？

A. 6uT/B地下階のたまり水の他にもR/B HPCSDG室内のたまり水も入っているが、どちらも地下水等であり、濃度は同程度と考えている。

Q. 5uRHRの停止時間は？

A. 詳細は確認できていないが、6時間程度かと思う。

以上

<説明内容>

- ①「メガフロートへの低レベル滞留水の移送」【資料配布】
- ②「福島第一原子力発電所2号機二重扉開放に伴い実施した環境モニタリングにおける不適合の原因と再発防止対策について」【資料配付】
- ③「4号機原子炉建屋5階現場調査結果について」【資料配付】
- ④「福島第一原子力発電所No. 1重油タンクの撤去作業について」【資料配付】

<主な質疑>

- Q. 仮設タンクとメガフロートの距離は。
- A. 約800m。
- Q. No. 1重油タンクの重油は何に使っていたのか。
- A. 蒸気を作るために回すボイラーの燃料等に使用していた。
- Q. 重油タンクはどれ位の距離を流されたのか。
- A. 確認する。

以上

情報共有 4枚  
(非管理文書)

官邸班 官庁連絡班  
NISA班 プレス対応班  
(合室OK)

東京電力株式会社  
手許資料  
\* 5/30 20:25 fix

福島地域支援室における、本日（6/30）16時30分、20時定例レク概要について、お知らせいたします。

6/30（木）16時30分定例レク概要

※本日はオフサイトセンターのレクの都合により16時30分から開始。

<説明内容>

- ①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ（6月30日 午前10時現在）【資料配付】
- ②プラント関連パラメータ（6月30日 12:00現在）【口頭説明】
- ③「福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の核種分析の結果について（第九十七報）」

「福島第一原子力発電所の海水からの放射性物質の検出について（第九十九報）」

「福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水中に含まれる放射性物質の核種分析の結果について（6月29日採取分）」

「福島第一原子力発電所タービン建屋付近のサブドレンからの放射性物質の検出について」

「集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果」

【全て資料配付】

- ④「福島第一原子力発電所の医療体制の充実・強化について（救急医療室の開設について）」【資料配付】
- ⑤熱中症予防対策の実施状況について【資料配付】
- ⑥福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋1階の清掃について【資料配付】

<主な質疑>

- Q. アレバの警報の内容は？  
A. 排気設備（ファンのトリップ）による自動停止。
- Q. 原因は？  
A. 詳細は調査中。
- Q. 14時～17時の間は本当に作業は行わないのか？  
A. その場合には、作業時間の短縮や休憩頻度の増加、クールベストの着用等、熱中症対策をさらに手厚くして作業を実施する。
- Q. ロボット導入の経緯は？  
A. メーカー側からの提供。
- Q. 誰が操作を行うのか？  
A. 訓練を受けた協力企業員が行う。

- Q. アメリカ製か？  
A. その通り。  
Q. 仕様は？  
A. 確認する。  
Q. アームが延びきった時の長さは？  
Q. 確認する。

以上

=====  
6/30 (木) 20時定例レク概要

<説明内容>

- ①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ (6月30日 午後3時現在) 【資料配付】  
②プラント関連パラメータ (6月30日 18:00) 【口頭説明】  
③福島第一原子力発電所緊急作業に伴う作業員の被ばく線量の評価状況について (統報3) 【資料配付】

※20時30分に資料配付

<水処理装置について>

- 自動停止に至る時系列について
- 18:50水処理装置全体起動、状況監視
- 19:40安定していると判断し、運転開始
- 原因については現在も確認中

<1号機>

- R/B地下階の水位について
- 建屋カバー設置工事について

<2号機>

- 原子炉への給水系ラインからの淡水の注入について
- プロセス主建屋へのたまり水移送について
  - ・15:59にポンプを2台から1台に変更

<3号機>

- 原子炉への給水系ラインからの淡水の注入について
- SFP代替冷却設備の設置について
  - ・18:33試運転開始
  - ・19:47定格容量到達

<4号機>

- SFP底部支持構造物設置工事について

<5号機>

- 所内電源切替に伴うRHRの一時停止について

<6号機>

- 仮設タンクからメガフロートへのたまり水移送について

- ・13:00~19:00実施

- ・流量は約25m<sup>3</sup>/h

- ・にじみ1箇所確認→養生済

<各号機T/B地下階、トレンチ立坑水位について>

<集中廃棄物処理施設>

- プロセス主建屋の水位について

- 雑固体容廃棄物減容処理建屋の水位について

<その他>

- 飛散防止剤の散布について

- リモートコントロール重機によるガレキ撤去について

- 港湾関連施設の改修工事について

- 大型タンク設置作業について

- 防潮堤の設置状況について

- ・17:00工事完了

<主な質疑>

Q. 作業環境が不安定だったのは3月がピークか?

A. 水素爆発やベントの関係で、被ばく線量が高かったと認識している。

その後サンプリング等の実施により、作業環境は改善してきていると考えている。

Q. タンクレベル低低とはどういう状況を示すのか?

A. 水位が急激に下がった状況かと思う。

Q. 水が漏れているということか?

A. 確認できていない。

Q. レベル低低と排気装置不具合の因果関係は?

A. 時系列から見て、ないのではないかと思う。

Q. 自動停止はレベル低低によるものか?

A. そう考えている。

- Q. 排気装置に関しては、自動停止には関係ないのか？
- A. 直接は関係していないと思うが、レベル低低に至った経緯に関係しているかどうかは確認できていない。
- Q. タンクレベル低と低低の水位設定については？
- A. 確認できていない。
- Q. SuSFPについて、代替冷却が本格運転を開始した後は温度等を確認することは出来るのか？
- A. 熱交換機で、入出の水温を確認することができる。
- Q. 被ばく線量について、統計人数の中には、身元不明な作業員の人数も含んでいるのか？
- A. 基本的にはないと思うが、現状では断言できる段階にない。
- Q. 4月の実入域者数の6266人の中には、4325人は含むのか？
- A. その通り。
- Q. 外部被ばく線量と内部被ばく線量の合計値が100mSv超の1名は、どのような仕事に携わっていたのか。
- A. 確認する。

以上